

平成26年度（修士課程）修了者一覧,
INFORMATION[期間:平成27年]

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/42088

INFORMATION

【期間：平成27年】

第25回金沢歯科口腔外科懇話会

金沢歯科口腔外科懇話会は、平成3年に金沢大学歯科口腔外科研修会としてスタートし、毎年回を重ね今年で25回になります。この会は金沢大学附属病院歯科口腔外科に患者さんを紹介して下さった先生と同窓の先生が集まり、歯科口腔外科の臨床と研究に関する研修を行う事を目的としています。本年は、金沢大学附属病院歯科口腔外科から16題の一般演題と特別講演を予定しています。本年の特別講演は福井大学歯科口腔外科教授の佐野和生先生にお願いしました。「口腔粘膜に現れる疾患の診断と治療」と題して、口腔粘膜疾患の最先端の診療についてのとても興味深いお話が聞けます。

日 時：平成27年2月28日(土曜日)

場 所：金沢エクセルホテル東急

問い合わせ：金沢大学歯科口腔外科医局 TEL 076-265-2444

脳・肝インターフェースメディシン研究センターセミナー /MRTプログラムセミナー

日時：3月6日(金) 午後4:00～6:00

場所：医学部B棟 小会議室

講演1 「肝臓ケアに着目した、ブロッコリースプラウト由来スルフォラファンの生理作用の解明」

牛田悠介 カゴメ株式会社研究開発本部自然健康研究部商品エビデンス研究G

講演2 「機能性ケールの利用と新たな機能性表示に向けて」

日野明寛 日本製粉株式会社 中央研究所

特別講演「機能性成分を作る植物のメカニズムー統合オミクス解析による解明

平井優美 理化学研究所 環境資源科学研究センター代謝システム研究チーム

脳・肝インターフェースメディシン研究センターセミナー /MRTプログラムセミナー

日 時：平成27年3月16日(月) 17:00～18:00

場 所：宝町 医学図書館2F 十全スタジオ

演 者：山本 恵子先生 昭和薬科大学 医薬分子化学研究室 教授

演 題：「新しい概念に基づいた核内受容体リガンドの創製」

連絡先：脳・肝インターフェースメディシン研究センター 生体統御学部門 井上 啓 (076-265-2840)

ウイルス感染症制御学特別セミナー

テーマ：アフリカのHIV-AIDSの現状と対策

開催日：3月31日(火) 17:00～18:00

場 所：医学類F棟1階 修士課程セミナー室

連絡先：ウイルス感染症制御学 TEL 076-265-2229 E-mail: virus@med.kanazawa-u.ac.jp

この度、2011年10月に本学と大学間交流協定を締結しましたケニア中央医学研究所の寄生・感染症部門長であり、カナダ マニトバ大学助教のDr. Elijah Martim Songokをお招きして「アフリカのHIV-AIDSの現状と対策」についてセミナーを開催致しました。また、Dr. Songokが昨年度から行っているケニア肝炎対策についても併せて紹介がありました。

生化学セミナー

テーマ：タンパク質間相互作用を標的とした *in silico* 創薬手法の開発と実践 – アポトーシス／炎症制御性化合物の創製 –

東京理科大学薬学部生化学教室の田沼靖一教授をお迎えし、学類・大学院学生、医学薬学研究者を対象としたセミナーを開催する。
in silico 創薬手法の開発では大変ご高名な先生から最適医薬分子を創る理論と実践につきご講演いただく。

日時：2015年4月9日（木） 10：30～11：30

場所：金沢大学角間キャンパス 旧イノベ棟

主催：血管分子生物学分野 共催：先端科学・イノベーション推進機構

TEL 076-265-2181 E-mail: yasuyama@med.kanazawa-u.ac.jp

脳・肝インターフェースメディシン研究センターセミナー /MRT プログラムセミナー

日時：平成27年4月10日（金） 17：00～18：00

場所：金沢大学 宝町 医学部B棟1階 小会議室

演者：岸 拓弥 先生 九州大学循環器病未来医療研究センター未来心血管治療学共同研究部門 部門長 准教授

演題：「脳の入出力伝達関数でフィードバック制御する神経刺激デバイス開発へ ～脳はすごい～」

連絡先：脳・肝インターフェースメディシン研究センター 生体統御学部門 井上 啓 (076-265-2840)

第1回金沢肝胆膵病理講習会

この第1回金沢肝胆膵病理講習会は、肝臓、胆道、膵臓の病理学に関する学術研究の発表と意見の交換、会員相互の親睦を深めることを目的としております。年1～2回の講習会を開催し、世界各国および国内において、活発に肝胆膵病理学の研究、診療に従事し、国際的にも学術的評価の高い基礎研究者および臨床医との交流を図るために平成27年3月に設立いたしました。初開催となる今回は、USAでご活躍中のマサチューセッツ総合病院病理部、ハーバードメディカルスクール病理学助教授の Mari Mino-Kenudson 先生にお越しいただき、膵癌についての教育講演を企画いたしました。また講演の後に症例検討会も予定しております。

日時 平成27年4月27日（月） 18：00～19：30

場所 金沢大学医学図書館2F 十全記念スタジオ

概要 特別講演 Mari Mino-Kenudson 先生
症例検討

テーマ 膵癌

連絡先 金沢大学医薬保健研究域医学系 形態機能病理学 原田憲一

TEL 076-265-2197 FAX 076-234-4229

ウイルス感染症制御学特別講演会

テーマ：Establishment of human Scavenger receptor B2 transgenic mice as a model for enterovirus 71 infection

開催日：5月18日（月） 16：30～17：30

場所：医学類F棟1階 修士課程セミナー室

連絡先：ウイルス感染症制御学 TEL 076-265-2229 E-mail: virus@med.kanazawa-u.ac.jp

この度、(公財)東京都医学総合研究所 ゲノム医科学研究分野ウイルス感染プロジェクト プロジェクトリーダーである小池 智先生をお呼びして“Establishment of human Scavenger receptor B2 transgenic mice as a model for enterovirus 71 infection”のテーマで講演を行います。

第5回MRTプログラム・リトリート

MRTプログラムとはMedical Research Trainingの頭文字をとったプログラムのことで、明日の医療を開拓する人材（研究医）を育成することをミッションとしている。臨床医師の養成のみならず医学研究者の育成をも責務とする本学医学類は、学生のうちから研究活動に参加する研究医養成プログラム「MRTプログラム」を採用している。本プログラムに参加した学生は、医学類の正式科目と並行しながら放課後や休暇期間などを利用して各研究室で行われる研究や論文抄読会などに参加し、実験技術およびresearch mindの会得を目指す。現在、学類生の60余名が参加している。学内における研究成果の発表の場として、学会形式で行われる研究発表会「MRTリトリート」を年2回開催している。前回までの教員の主導型から、今回のリトリートは学生が主体となり、プログラムの選定から会場の設営まですべてを学生が運営することになる。教員と学生の親睦をはかるための懇談会も開催される。

開催日時：平成27年6月16日（火） 18：00～

開催場所：十全記念スタジオ（医学図書館2階）

主 催：医学類教育委員会

連絡先：分子神経科学・統合生理学 TEL:076-265-2171 E-mail：mieda@med.kanazawa-u.ac.jp

第13回日本予防医学会学術総会

メインテーマ：地方から新しい予防医学を創生する

会 期：平成27年6月20日（土）～6月21日（日）

会 場：フレンドパーク石川（石川県勤労者福祉文化会館）

大会長：中村 裕之（金沢大学医薬保健研究域医学系環境生態医学・公衆衛生学教授・革新予防医科学教育研究センター長）

主 催：一般社団法人日本予防医学会

問い合わせ先：第13回日本予防医学会学術総会事務局（担当：神林（事務局長）、杉原）

TEL：076-265-2218 E-mail：yobou13@med.kanazawa-u.ac.jp

内 容：本学術総会では、「地方から新しい予防医学を創生する」をメインテーマに掲げ、更なる予防医学の発展を社会にアピールするシンポジウムなどを企画しています。

シンポジウム1: 糖尿病克服に向けた地方からの挑戦

シンポジウム2: 職場の発達障害の理解と対応

シンポジウム3: 住まいからみた文化と健康－地方から新しい予防医学を創生する－

市民公開シンポジウム: PM2.5の環境問題の現状と課題